

副理事長 高山 泰輔

2021年、私たちは社会に多大な影響を及ぼしたコロナ禍からの復興に向けてニューノーマルな手法であゆみを進め始めました。しかし、コロナ禍による余波はいまだ残存しており、子供への心理的影響や社会、経済への影響は継続的な課題となっています。アフターコロナを見据え、地域の発展に寄与する団体として先頭に立って行動し、市民や行政、各種団体を巻き込んだ運動によって八女地域の変革への一歩を踏み出す必要があります。

まずは、持続可能な八女地域を実現するために青少年育成事業、まちづくり事業、国際交流事業により経済、福祉、社会環境の好循環を作り出し、八女地域のもつ価値や子供たちの共感力を育て未来へとつなげる可能性を社会に示します。そして、この市民や行政、各種団体との協働による運動は、八女地域に住み暮らす人々の郷土愛を醸成し意識を変革させ、社会の発展につなげることができます。さらに、メンバーにとっても地域を牽引するリーダーとして様々な学びの機会となり、一人ひとりが魅力的な人財へと成長することができます。また、運動の効果を最大化するためには多くの仲間が必要であり、全てのメンバーが高いレベルで勧誘を行えるように対応を洗練しフォーマット化することで八女地域のより良い未来に向け共に挑戦する新たな仲間を集めます。そして、組織の副理事長として責任と自覚をもって理事長を補佐し、JCの三信条である「奉仕・修練・友情」のもと、苦労や喜びを分かち合いながら理事長の想いや自身の経験、情熱をメンバーに伝えることで、八女地域の未来を想いお互いが相手の多様性を認め合い相手を尊重できる強い組織を目指します。

私たちは課題や問題の裏に隠れている不安や遠慮といった覆いを取り除き、明るい豊かな社会を実現させます。無限の可能性に挑戦し地域を導くリーダーとして力を合わせ、英知と勇気と情熱をもった人財へと成長し、持続可能な八女地域の価値創造に貢献します。

副理事長 野中 克則

八女地域は広大な面積を有し、八女茶をはじめとした農作物は福岡県内でもトップクラスの生産量を誇り、南北に走る国道3号線や高速道路へのアクセスが良好で可能性を秘めた地域です。しかし、人口の減少や産業の衰退など多くの問題を抱えており、加えて新型コロナウイルスの影響で人々の交流は制限され新たな問題も生まれています。この時代だからこそ、我々が地域に新たな価値を生み出す運動を展開することが必要です。

まずは、メンバーが使命感をもち自主的に行動する意識を醸成するために、副理事長として率先して行動で示しこれまでの経験を伝えることで、メンバーの意識向上につなげます。そして、持続可能な八女地域を実現するために、JC運動を通して八女地域の問題と向き合い、メンバーや市民の意識も変革し、問題解決に取り組むことで、八女地域の新たな価値を創造します。さらに、八女地域の明るい豊かな発展のため、共に悩み、互いの価値観を認め合い、時には熱く議論を重ねていくことで、効果的で影響力のある事業や研修の構築へ導きます。また、一人ひとりがニューノーマルな価値観を生み出すことで、将来を担うグローバルな人財の育成が、八女地域の新しい発展につながります。そして、JCI八女の運動をより影響のあるものとするために、綿密に情報共有し、積極的に入会候補者と面談を行い、JCの魅力伝えることで拡大へとつなげ、地域の発展に寄与する人財を育成します。さらに、自分の限界以上の能力を発揮するために、共に修練の機会を経験することで、これからの多様な時代を切り開き、地域を牽引する団体に進化すると確信しています。

新しい価値を生み出し続けるJCI八女として、希望とやりがい新たに再認識することにより、一人ひとりが使命感をもち、自分ごととしてJC運動、JC活動に励むことで未来の地域ため、未来の子供たちのため、必要な団体となるように一年間邁進いたします。

第二室 室長 山下 泰広

八女地域は少子高齢化、都市部への若者の流出と多くの課題を抱えております。これまで我々は地域をよりよくするために事業構築を行なってまいりました。ですが2020年度から流行している新型コロナウイルス感染症のパンデミックはJ C 活動、運動を当たり前のように行えない影響を与えました。先輩諸兄弟が我々に引き継いできて頂いたJ C I 八女を今一度盛り上げ地域から必要とされる運動を構築し、展開していく必要があります。

まずは、例会研修委員会と国際交流委員会の両委員会が八女地域の明るい豊かな社会の実現にむけて各委員会の事業が円滑に行われるように、室長として委員長のサポートに努めてまいります。そして、例会研修委員会では強固な組織を作り上げるために、八女メンバーと地域の方々を対象にした研修事業の中で交流を行ない、メンバー一人ひとりの意識の向上と地域を牽引するリーダーになる成長の機会とし、力強い組織を作り上げます。さらに、各例会においては、メンバーがJ C I 八女の方向性を共有するために、委員長に動員の指導と第一室との連携を行い、より多くのメンバーに参加していただくよう取り組んでまいります。また、誰もが発信できるこの情報社会において一部では外国人の不実な情報も発信されており、外国人に対する差別や偏見を無くすために、国際交流委員会では外国人の方々と交流する機会を作り、相互理解の精神を醸成し八女地域の発展につなげます。そして、会員拡大においては、新たな視点を取り入れJ C I 八女の多様化を進めるために、男性はもとより女性の拡大に力を入れ、両副理事長との連携を行い拡大に努めて参ります。

J A Y C E E がコロナ禍においても臆することなく、常に前を向き、D I S C O V E R ～新たな価値の発見～のもと、能動的に時代・地域を牽引する形で八女地域にあった運動、活動を行い、魅力あふれる人財と成長し、明るい持続可能な八女地域を実現します。

まちづくり委員会 委員長 大坪 達史

八女地域は、福岡県南部に位置し広大な面積を活かした数多くの特産物や伝統工芸品があり、豊かな自然と歴史が受け継がれてきた人の温もりにあふれるまちです。しかし、伝統や歴史とは裏腹に多くの問題を抱えており、2040年の全国市町村別人口推計で消滅可能都市と位置づけられています。少子高齢化、出生率低下や都市部へ移住による人口減少、後継者不足等の地域が衰退していく課題に対して今行動を起こす必要があります。

まずは、人口減少や後継者問題に歯止めをかけて八女地域に定住、定職したいと思う仕組みを提案し、活気に満ち溢れた誰もが住み続けたいと想うまちを目指します。そして、地域活性化の大きな原動力となる郷土愛を新たに醸成するために、八女地域の魅力ある農作物を知る機会を作り、八女になじみのない方や未来を担う子供たちが直接農業に触れ体験することで新規就農者となりまちと人が新たに出会い、共に歩いていき、絆を強固なものとしします。さらに、八女地域に若い世代を中心に定住して頂くために、地域のもつ産業の価値や働きやすさと住みやすさを兼ね備えた魅力あるまちであると発信していきます。また、メンバー一人ひとりの意識を同じ方向へと導くことで郷土が抱える課題解決に全力で立ち向かい八女地域の発展に大きく貢献します。そして、入会歴が浅いメンバーにも積極的に事業に参加を呼びかけ参加する意義を見出しメンバー間の絆を確固たるものを築き、組織強化したJCI八女を夏期総会にてお披露目できるよう企画運営を行っていきます。

DISCOVER～新たな価値の発見～本年度スローガンのもと、JCI八女が先頭に立ち、課題解決の突破口を切り開き、新たな一歩を踏み出し八女地域に住む人たちと協力し合い、ふるさとの恵みと誇りを未来に継承していく持続可能なまちづくりを進めてまいります。

青少年育成委員会 委員長 中島 恭佑

世界中に猛威をふるった新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人と人が触れ合いコミュニケーションを取ることが難しい時代へと変化していきました。私たちが住み暮らす八女地域においても各学校の行事などが中止となり、子供たちの貴重な体験の機会が損失されています。このような状況下だからこそ、私たちJCI八女は地域の宝である子供たち一人ひとりへ豊かな道徳心を育むことができる運動を展開していく必要があります。

まずは、本年度青少年育成委員会では子供たちが人を想う気持ちを持ち、夢や希望の実現に向けて手を取りあって取り組む機会を創るために子供たちに日常にあふれる感謝について考えてもらいます。そして、各々が想う気持ちを知り、大切な人へ自分なりの方法で想いを伝えることで人を想う気持ちを知り、これから成長していく過程での道徳心の成長につなげることができるかと確信します。さらに、変化する時代にも対応できる人材へと成長するために仲間との時間を共有することの大切さを知り、自分の価値や可能性を知ることによって挑戦する心を育みます。また、人の気持ちを思いやることのできる強い子供を育てるために、現代の情報収集のツールであるSNSやインターネットの正しい知識とマナーを学んでいただき、人の痛みを理解できる慈しみの心をもつことの重要性を知っていただきます。そして、12月総会においては卒業生のこれまでの功績を称え、その想いを現役のメンバーに引き継ぐ貴重な機会となっており、JCI八女の伝統を継承するために卒業生の想いを一人でも多くのメンバーに伝播できるように企画、運営を行います。

DISCOVER～新たな価値の発見～本年度スローガンのもと、子供たち一人ひとりが慈しみの心を持ち、夢や目標に向け個性溢れた環境を目指し、新たな価値や個性を見出すことで持続可能な明るい豊かな社会への実現へ向け恐れず全力で挑戦します。

国際交流委員会 委員長 松尾 研士

2020年より世界で感染が広がり始めた新型コロナウイルスは、収束の目処が立たず、以前のような活発で積極的な国際交流の機会が全国では勿論のこと、八女地域でも難しくなっています。学業や日本の技術習得のために来日し、努力をしている外国人がいる中で、一部の偏った報道により外国人に偏見を持つ人も少なくありません。その偏見を排除し、互いの国の文化を学び尊重し、人種の壁を取り払った運動を展開する必要があります。

まずは、日本と他国との文化や慣習、考え方の違いを知るために、国際交流の意義を感じることで、それぞれの国の魅力、課題を認識し、相互理解の精神を育むことのできる時代に即した事業を構築します。そして、日本人としての誇りをもち今後の国や地域の発展につなげるために、これまで無かった発想や課題解決に向けて交流できる機会を創り、報道による偏見を無くして相手を尊重することの大切さを知ること、外国人とのコミュニケーションを取り相互の友情を育みます。さらに、将来海外で活躍できる人財が八女地域から生まれる機会を創出するために、国際交流事業を実施することで、外国への関心を深めます。また、JCI八女の実施する事業が永続的に最大化するために、入会歴の浅いメンバーに魅力を感じてもらい、それを伝播することで、会員拡大へとつなげます。そして、八女地域の発展に向けてより影響力のある団体へと成長するたために、新年総会を実施し、2022年度のJCI活動、運動方針を発信することで、理事長の想いをメンバーが理解、共感できる機会とし、行政や各種団体と意見を交換することで連携強化につなげます。

それぞれの国が抱える問題がある中で、外国人とのつながりを持つことは知見を広げるだけでなく、これまでとは違った視点から物事を考え、今後の課題解決のために必要な新しい価値の発見につながることで、誰一人取り残さない魅力溢れる八女地域を実現します。

例会研修委員会 委員長 齋藤 尚広

近年、新型コロナウイルスや毎年起こりうる災害問題や人口減少問題など様々な要因により社会情勢は劇的に変化しています。八女地域でも同様の問題が取り出されている中で、変化に対応し八女地域の成長が必要です。JCI八女と地域が連携し同じ目標に向かって行動し、地域の未来をより良い方向へ変えて行くため、使命感をもって行動します。そして、地域課題に向けた運動と自己成長を繰り返す、確かな歩みを進める必要があります。

まずは、例会で理事長を始め、多くのメンバーの話を聞き、今のJCI八女の方向性を知っていただくことはもちろんのこと、メンバー同士の交流の機会を作るために、工夫を凝らした委員会タイムを行うことで、参加意欲を高め100%例会へとつなげます。そして、JCI八女メンバーの多くは各事業所で中心的な役割を担っているため、率先した行動力を身につけることのできる研修事業を企画し、リーダーとして必要なスキルの習得につながる機会とします。さらに、多くの方々にJCI八女の活動内容を知っていただくために、JCI八女以外の方々にも事業に参加していただき、JCI八女メンバーとの交流を深める時間をつくり、各段階で議論の場を設け様々な意見を活発に交わすことで、参加された方々の視野の拡大、新たな価値観を生み出す機会とし泥臭く取り組みます。また、家族懇親会において、日頃からJC活動を理解していただき、陰で支えていただいているご家族に感謝の想いを伝え、メンバー及びご家族同士の懇親を深めるために、同じ時間を共有し家族間の絆が深まる機会を作り家族同士も積極的に交流できる家族懇親会を設営します。

本年のスローガンであるDISCOVER～新たな価値の発見～のもと、例会や研修事業を通して、日々変化する日常の中で失敗を恐れず挑戦する行動力を身につけ、各メンバーが高い志をもった魅力的な人財となり、八女地域を牽引するリーダーを育成します。

専務理事 井上 元太

2020年に全世界へと感染が拡大した新型コロナウイルスの影響により、私たちの生活様式は大きく変化し、人々の交流は制限され、誤解や偏見により様々な差別が起り社会問題となっています。私たちが住み暮らす八女地域は、人口の減少や産業の衰退など多くの問題を抱えており、どのような状況においても私たちJCは持続可能な地域の実現のため歩みを止めることなく、新たな手法も取り入れながら運動を展開することが必要です。

まずは、理事長の想いを伝え同じ方向性に向かって運動を展開するために、メンバーと密にコミュニケーションを取り事業の方向性や目的について話し合い相談に乗ること、メンバーが自ら積極的にJC運動に参画し結束力の強固な組織を構築します。そして、効果的な運動を展開するために、運営グループが連携しながら効率的な会議の運営や円滑な議案の上程をサポートし、事業の効果を最大化します。さらに、地域により良い変化を与える事業を構築するために、地域の課題やそれを解決するための手法についてメンバーと共に考え、どのような状況でも効果を生む新たな手法も取り入れることで、私たちJCの地域における存在価値を高めます。また、共に活動する同志を発掘し運動の効果をより大きなものとするために、自らが率先し会員拡大を行うとともに、拡大会議を通してグループが連携しながら拡大に取り組むことで、LOMの拡大成功に導きます。そして、メンバーに成長、発展の機会を提供するために、例会や事業、各種大会、エリア会議等の意義や目的を伝え参加を促し、メンバーがJCに魅力を感じ飛躍的に成長することにつなげます。

変化が著しく混沌とした時代においても地域のことを思い、奉仕の精神で率先して運動を展開することは地域により良い変化を与え、ニューノーマルな手法を取り入れ新たな価値を創造することで地域は輝きを増し、魅力に溢れた持続可能な八女地域を実現します。

常務理事 橋本 雄大

全世界へと感染が拡大した新型コロナウイルスは終息の目途が見えず、経済活動の停滞、生活様式の変化や新型コロナウイルス感染に対しての差別や偏見が大きな課題となっ
ています。また、日本各地で豪雨災害等の自然災害が発生し、日常の生活に大きな不安を抱える人も少なくありません。急激に変化する時代の中で、私たちJCが先頭に立ち
明るい豊かな社会の実現に向けて新たな手法を取り入れながら運動を展開していくことが必要です。

まずは、理事長の想いを組織全体で共有し運動を展開していくために、メンバー間で密に情報交換を行い、結束力
の強い組織を構築していきます。そして、JCの魅力が多くのメンバーに発信し、事業や例会、各種大会への参画を
促すことで個人のスキルアップにつなげ、新たな気付きを与えます。さらに、より良い事業を構築するために運営グ
ループとして専務理事のサポートを行うとともに各種会議を円滑に設営することで、理事長をはじめ理事の想いをメ
ンバーにつなぐ架け橋となるように取り組んでいきます。新型コロナウイルスによる自粛が長引き事業や活動を知ら
ないメンバーが増加している状況を踏まえて、一人ひとりの成長へとつながるように率先してサポートしていきま
す。さらに、JC活動、運動に魅力とやりがいを感じる機会を提供することで、入会歴の浅いメンバーの定着を
図り、新たな同志を積極的に発掘することで会員拡大を成功へと導きます。また、本年度の理事長および卒業生の想
いや各出向者、各委員会の活動報告を組み込んだJCニュースの作成を行うことで私たちJCの活動を地域の方々に認
知していただき、存在価値の向上につなげます。

時代は大きな変化を迎えており、私たちはその岐路に立たされています。私たちが住み暮らす八女地域の現状を今
一度見つめ直し、私たちJCの運動をしっかりと発信することでその先にある新たな価値を発掘し、地域の未来を見
据えることができると確信します。

財政局長 古賀 政啓

私たち J C は明るい豊かな社会の実現のため、地域が直面する課題に焦点を当て運動を行ってまいりました。しかし、2020年に全世界へと感染拡大した新型コロナウイルスは今日まで影響を与え、人々の交流の制限のみならず差別など新たな問題が噴出しており、人口減少及び産業衰退を抱える八女地域についても新たな課題を作り出しています。このような潮流に対して新たな手法を取り入れ地域の課題解決のため運動を展開していく必要があります。

まずは、組織運営及び各種会議がより円滑なものとなるために、運営グループ内において適切な会議資料及び予算資料等の作成を行っていくとともに、綿密な連携のもと情報共有しお互いにサポートを行っていくことで円滑な議案の構築、効果的な事業の実施につなげてまいります。そして、各委員会が立案する議案の収支予算の適正化を図るために、議案作成時の初期段階より運営グループが連携しながら各委員会と協議を行い、会計基準に則った適正な予算計画となっていることを精査することで、メンバーからお預かりした貴重な会費が十分な費用対効果を発揮できるように取り組んでまいります。さらに、コンプライアンスの遵守を徹底するために、まずは自分自身が各種規則について十分に理解を深め、各委員会に適切な指導を行っていくことで、法令を遵守した質の高い事業の構築を目指してまいります。また、これまでの会計報告を振り返り改善すべき点は改善することで、J C I 八女が行う事業の透明性、開示性及び公共性を高め、J C 運動がより効果的なものとし、地域から認知され地域により良い変化を与えるものとなるように尽力します。

時代は大きな変化を迎え、閉塞感の漂った時代だからこそ魅力に溢れた八女地域を実現するため、本年度のスローガンである DISCOVER ～新たな価値の発見～のもと、ニューノーマルな手法を取り入れ運動を展開することで新たな価値を創造します。

事務財政局長 木下 徹郎

実発2新で退ななで
の域、たし衰うた要
会地しし生のよ新必
社てから発業のいが
なつしたたが産ど集と
かよ。も題、をこ
豊にたを問少り者る
い手し響会減おるす
るのま影社口てす開
明志りるな人しく展
に有いな々も生じを
年年ま大様で発同動
9青て甚りいがを運
5のめとよお題志れ
9多進へにに課、入
1幾を界ス域なもり
は、み世ル地たて取
女し歩全イ女新いく
八とににウ八ずお早
I想め年ナ。らに逸
C理た0口す。な下を
Jをの2コまみ況法を
現展0型いの状手す。

をあ議まア が対種す面を るにのメ活局な DのCと
携もに催やまーに各動の動のなC、る務ブ るンYこ
連で格開談しバーな行報行域更極Jしな事イ げガAる
と幹厳備相現ンバ的に広の地、積に掘更るテ 掲一Jす
有根に準、実メン極際、ち女げ、者発のな一 が口、開ま
共のうらりをいメ積実たた八広て若を体とエ 長スれ打し
の動よか取業浅いと、ま私やをし志全点リ 事の入を現
報運る成に事のなこし、ブ輪そく同女扱ク。理見り状実
情Cき作密る歴らの促すいうの。多る人のいす、発取現を
のJで案をあ会知んをま使ク力すもれI動高まそのを、会
でとが議流の入をろ画きをア協まできC活のいこ値法し社
内宮築、交義はきち参導、ジニごし人てJ、質行ら価手揮な
プ運構ての意女付ものとし理解と一しげたでをかなな発か
一な業しとい八気はへへで理解でになまとりだたに豊
ル切事そ一行Iな会等長ムとごのと共つ。こく代新マ分い
グ適な。バにCた例議成一こきへこをとすつづつ時〜一存る
営の滑す。ン確J新や会なホる頂長る動へま保境いRノを明
運議円まメ的、の業アた・すを成す行大げに環なE一力の
、会のしのをにで事り新S散感展信え拈な潔るえVユつ域
は種業認くスらC、エでN拈共発発伝のつ清出見Oニも地
ず各事確多イさJは、とS・にのをを一ににがのC、の女
まり各をはバ。くて会こは信々域報力バ化常見先SとE八
取る案でドす。多し大るで発方地情魅ン性を意 IもEで

事務財政局次長 入部 圭右

J C I 八女は創立以来、明るい豊かな社会の実現に向けて様々な事業に取り組んでまいりました。しかし、近年新型コロナウイルスという大きな壁が立ち上がり、自粛期間が長引き地域経済、未来を担う子供たちにも多大な影響を与えています。今こそ私たち J C I が積極的に動き出さなければこの八女地域は衰退の一途を辿ることになります。J C I 八女の創り上げてきた伝統を継承しながら新たな価値を発見することで様々な問題解決に導

くことが必要です。

まずは、事務局次長として事務局長の補佐だけでなく自覚と責任をもち、議論の場となる事務局でより質の高い会議を行うために、整理整頓、備品管理、資料管理を徹底しメンバーが活動しやすい環境を整えます。そして、事業、例会及び各種大会等に一人でも多くのメンバーに参加していただくために、スケジュール管理を徹底し運営グループが密にメンバーと連携をとりながら情報を迅速に発信することで、自ら積極的に参加する環境を創出しメンバーの成長につなげます。さらに、各委員会が行う事業構築において委員長の想いをしっかりと受け止めより良い事業とするために、各種会議において厳格に議案を精査し適切な指導を行うことで、効果的な事業の構築につなげます。また、広報においては J C I 八女の活動、運動の状況を毎週 SNS、ホームページで発信することで、八女地域のみならず多くの方々に認知していただき J C I 八女の存在価値を高めます。さらに、じゃがいもゴルフにおいては、一人でも多くのメンバー及びシニアクラブの方々に参加していただくことで、先輩方との絆を深め、より良い連携が図れるように尽力します。

大きな変革を迎えている今、先輩諸兄姉が作り上げてきた伝統を継承し、本年度のスローガン DISCOVER ～新たな価値の発見～のもと、メンバー一人ひとりが新たな価値を発見し成長することで地域の発展へとつながり、持続可能な八女地域を実現します。